

## 令和 6 年度 野生鳥獣被害対策の主な取組について

## I 捕獲対策

## 1 捕獲者の確保・育成対策

## (1) 狩猟の担い手確保、人材育成 林務部

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
ハンターデビュー支援事業	狩猟に興味がある者等を対象に、狩猟の基礎や野生鳥獣、銃猟の実践的な講習を実施	県	5,999 千円	9,000 千円

## (2) 銃猟者の確保・育成対策 県警本部 林務部

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
猟銃等講習会の開催	新たに銃を所持しようとする方や既に所持している方が受講する講習会の開催	県警察本部	初心者対象 6 回 経験者対象 30 回 1,212 千円	初心者講習 6 回 経験者講習 30 回 1,542 千円
銃猟者確保・育成支援事業	新規銃猟者による銃砲所持許可の取得や捕獲従事者として必要な射撃技術向上の取組を促進	市町村協議会	321 千円	480 千円

## 2 効果的な捕獲対策

## (1) ニホンジカの捕獲強化 林務部

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
奥地等での効率的な捕獲の推進	シカの生息状況を踏まえた効率的な捕獲手法の実証	県(委託)	7,227 千円	7,400 千円
持続可能な捕獲モデルの確立	新たな捕獲・利用方法を実証するとともに、捕獲個体を最大限にジビエ利用できる仕組みづくりの確立に取り組む	県(委託・補助)	12,788 千円	6,000 千円
生息分布拡大地での捕獲活動調査実証	生息分布拡大地である群馬県境において、効率的な捕獲に向けた生息状況調査と捕獲方法の実証	県(委託)	22,176 千円	24,000 千円
再造林推進シカ捕獲サポート事業 【R6 新規事業】	主伐後の造林地の確実な更新を図るため、造林地周辺で行う効率的な捕獲活動を支援する。	市町村		3,000 千円

(2) 鳥獣被害対策実施隊の強化 **林務部**

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
鳥獣被害対策実施隊等への支援	市町村等の「鳥獣被害対策実施隊」や「集落等捕獲隊」が行う捕獲に対する経費を補助	市町村協議会	5,498 千円	5,070 千円

(3) 鳥獣被害防止緊急捕獲活動への支援 **林務部** **農政部**

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業	市町村が策定する「被害防止計画」に基づき行う有害鳥獣捕獲活動等への支援	協議会又はその構成員である市町村	149,688 千円	204,030 千円
鳥獣被害防止総合対策交付金(推進事業)	集落ぐるみの捕獲におけるワナ購入等の支援	協議会等	28 協議会 48,624 千円	32 協議会 46,279 千円

## II 防除対策

1 農業被害を防ぐ侵入防止柵の設置 **農政部** **林務部**

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
鳥獣被害防止総合対策交付金(整備事業)	集落ぐるみの防除対策の支援や侵入防止柵の整備	協議会等	18 協議会等 (防護柵 31.7 km) 64,478 千円	18 協議会等 (防護柵 41.1 km) 87,306 千円

2 草原環境ニホンジカ食害防止対策の実施 **環境部**

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
ホットスポット整備事業	電気柵の設置を地域の協議会と県で協働実施	県協議会	霧ヶ峰高原 美ヶ原高原 457 千円	霧ヶ峰高原 美ヶ原高原 457 千円

## III 生息環境対策

1 鳥獣が出没しにくい環境づくり(緩衝帯の整備、鳥獣の移動経路の阻害等) **農政部**

**林務部**

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
鳥獣被害防止総合対策交付金(推進事業)	緩衝帯の整備	協議会	6 協議会 (緩衝帯 14.98ha) 4,523 千円	7 協議会 (緩衝帯 15.92ha) 5,066 千円
市町村森林整備支援事業(森林づくり県民税活用事業)	緩衝帯の整備	市町村	20 箇所 15,660 千円	38 箇所 28,000 千円

没抑制) 林務部 建設部

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
みんなで支える里山整備事業（森林づくり県民税活用事業）	里山・河畔林等の整備	市町村 森林組合 NPO 等	里山整備面積 160ha 99,942 千円	里山整備面積 526ha 212,200 千円
		県 市町村	河畔林整備箇所 市町村事業 17 箇所 39,375 千円	河畔林整備箇所 市町村事業 19 箇所 40,050 千円

※整備により鳥獣出没抑制の効果も期待ができる事業

## IV ジビエ振興対策

### 1 信州ブランドとしてのジビエ振興 林務部 営業局

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
流通体制整備 ・施設整備	食肉処理施設の品質管理強化に資する施設整備等を支援	県	2 事業体 7,010 千円	1 事業体 3,000 千円
野生獣肉放射性物質モニタリング事業	県内で捕獲された食肉用個体の放射性物質のモニタリング調査等を実施	県	542 検体 1,943 千円	555 検体 2,030 千円
信州ジビエ情報収集活動事業	専門家による衛生管理等に関する情報収集活動や最新の基準に沿った衛生管理指導	県	衛生管理研修 331 千円	衛生管理研修 2,030 千円
生産量、品質管理状況の把握	流通等専門家による生産・販売に関する情報収集活動	県	ジビエコーディネーター 1 名 480 千円	ジビエコーディネーター 1 名 500 千円
流通体制整備 (ジビエプロモーション事業)	ジビエの消費拡大のための情報発信等を実施	県 (委託)	3,319 千円	4,089 千円
ジビエ活用推進事業	道の駅でのジビエ物販コーナーの設置	県 (委託)	2,304 千円	1,100 千円

## V 野生鳥獣生息状況調査等

### 1 生息状況調査等 林務部

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
カモシカ個体群動向調査	カモシカの捕獲個体を調査・分析し、個体群の動向を把握するとともに、捕獲による個体群への影響を把握	県 (委託)	個体数調整にあわせて実施 4,884千円	個体数調整にあわせて実施 4,684千円
ニホンジカ生息状況調査	第二種特定鳥獣管理計画の評価・見直しのための生息密度等調査	県 (委託)	4,967千円	28,545千円
カモシカ生息状況調査	第二種特定鳥獣管理計画の次期計画策定に向けて、県内の分布、生息等の動向を調査	県 (委託)	生息状況調査 11,493千円	/
鳥類生息状況調査	鳥類被害の中で被害額の大きい種であるカラスやカワウ等の生息状況を調査	県 (委託)	生息状況調査 (カワウ) 7,900千円	/

### 2 外来生物の重点対策区域検討のための分布調査等 環境部

事業名	事業内容	事業主体	R5 実績	R6 予算
対策方針検討事業	特定外来生物 (アライグマ等) ・アライグマ分布調査 ・特定外来生物(アライグマ等)解剖分析等	県 (委託)	捕獲個体解剖分析 (アライグマ等) 1,496千円	捕獲個体解剖分析 (アライグマ等) 1,715千円

## VI その他

### 1 野生鳥獣による人身被害防止及びジビエの安全性確保に向けた普及啓発

健康福祉部 観光部 教育委員会

事業名	事業内容	事業主体
観光客等への注意喚起	県下10地域の観光客安全対策推進組織を通じた啓発活動(観光リフト乗り場、キャンプ場等)	県
児童・生徒、教諭、保護者への注意喚起・啓発	学校における啓発用リーフレット、チラシの配布 通学路安全対策等の周知 研修会(学校事故対応や通学路安全)での周知	県
ジビエの安全性確保のための注意喚起	生食の危険性や十分な加熱の必要性について情報提供を行い、食中毒防止のための知識を普及啓発 ジビエを取り扱う食肉処理業者や飲食店等に対する監視指導の実施	県